

1. コネクタの脱着

コネクタの凹凸部を合わせて挿入し、ネジを回して固定してください。

* 耐圧プローブHC2-IExx を取り付ける場合はまず治具部分を測定環境に固定してからコネクタに装着してください。装着後にコネクタ部分に力がかかると、断線など故障の原因になります。



2. 保存環境

センサプローブを使用しない場合は、精度を維持するために、できるだけ 25°C 前後の常温で、水分の少ない環境で保存してください。

3. 測定に影響を与えるガス成分

以下の成分を含む雰囲気中での測定はセンサにダメージを与える可能性があり、特性変化の加速、濃度が濃い場合には破損の原因になります。

- アセトン、アンモニア、エタノール、過酸化水素、硫化水素、塩素系ガス、硫黄酸化物、窒素酸化物、他。 詳細は当社までお問い合わせください。

4. 定期メンテナンス

精度を維持するために、定期的に校正することをお勧めします。通常の室内環境下で使用した場合、目安として年 1 回程度の校正をお勧めします。

フィルタに粉塵などが付着している場合は、フィルタをクリーニングするか交換してください。

フィルタを交換する場合は内部のセンサ素子を傷つけないように注意してください。

* 校正を実施する間隔は、使用する環境、センサへのストレスの程度によって異なります。

* メーカー校正を希望される場合は当社までお問い合わせください。

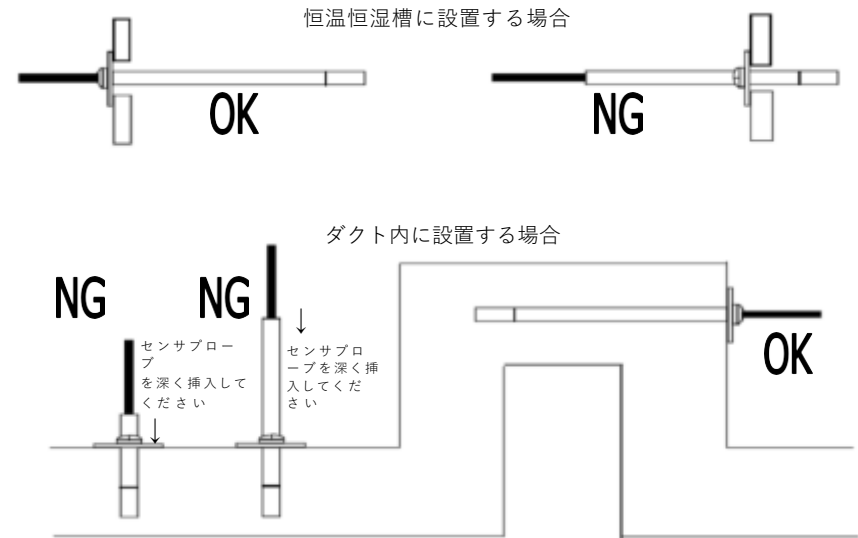
5. 測定時の注意事項

以下のような場所へのセンサプローブの設置は避けてください。

- A. 熱源、冷媒に近い距離への設置、直射日光が照射する場所への設置
- B. 噴射器、加湿器に近い距離への設置、直接降雨にさらされる可能性がある場所への設置
- C. 過度の空気流により圧力が不安定になる場所への設置
- センサプローブを壁面にに取り付ける場合、変換器やインターネットアダプタなどは発熱の可能性のある装置の真上には設置しないでください。
- センサプローブが環境の温度変化に適用しやすいように、できる限り適度な風速 (>1m/秒) がある場所を選んで設置してください。

6. 恒温恒湿槽/ダクト内にセンサプローブを設置する場合

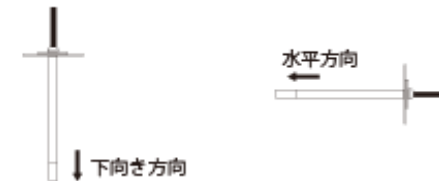
壁面を通してセンサプローブを設置する場合はできる限りセンサプローブを測定環境に深く挿入してください。可能であれば、ケーブルも含めて測定環境に挿入されるように設置してください。



7. 高温環境にセンサプローブを設置する場合の注意事項

結露の可能性がある場所にセンサプローブを設置する場合は、結露水がセンサ素子リード線の部分まで溜まらないように、センサ素子部分が下を向くように設置してください。

下向きの設置が難しい場合は水平方向に設置してください。



使用上の注意

本製品を安全にお使いいただくため、以下の注意事項を守って使用してください。

- 仕様範囲内での計測用途に使用してください。
- 湿度センサはフィルム状のため、フィルタ脱着時には十分に注意してください。
湿度センサを巻き込んだ状態でフィルタを脱着すると、湿度センサが破損・断線する恐れがあります。
- 風速3m/sを超える環境で測定する場合は、湿度センサを保護するためにフィルタを装着してください。
フィルタ装着が必要な機種およびフィルタの種類は、お買い上げの販売店までお申し付けください。
- 温湿度センサプローブは清浄な空気環境中での測定が前提となります。

以下のような場所、環境への設置および使用は避けてください。

- ・ 結露が連続的に長期間続く場所。
- ・ 腐食性ガス、可燃性ガス、有機ガス等が発生する場所。
- ・ 水、油、薬品、湯気のかかる場所。
- ・ 塵埃、粉塵、鉄粉が多い場所。
- ・ 誘導障害が大きく、静電気、磁気、ノイズが発生する場所。
- メンテナンス以外の用途で計測器を分解しないでください。
- 保証期間は、製品をお買い上げいただいてから1年間です。
万一、保証期間内に製造上の不備による故障が生じた場合は無償修理いたしますので、お買い上げの販売店までお申し付けください。
- 修理等は当社社員が行います。当社社員以外が行った場合、機能、動作、計測性能に関する責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので予めご了承ください。